

図書館ホームページのアクセシビリティの現状とその対応方法

アライド・ブレインズ株式会社
シニアコンサルタント
大久保 翌 (おおくぼあきら)

1. ウェブアクセシビリティ

●ウェブアクセシビリティとは

- 高齢者や障害者といった、ホームページ等の利用になんらかの制約があったり利用に不慣れな人々を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること
- ウェブサイトの基本品質

●障害者にとってのホームページの重要性

- 利用したい情報を思い立った時に自力で利用することができる
- 紙媒体での情報提供、窓口での情報提供に比べて、利用する側の自由度が高い
- 音声読み上げソフトをはじめとする支援技術を活用することができる

●公的機関に配慮が求められる背景

- 障害者基本法
- 工業標準化法
- JIS X 8341-3:2010
- 総務省「みんなの公共サイト運用モデル (2010 年度改定版)」
- 国際標準 WCAG2.0 (10 月 15 日に ISO/IEC 40500:2012 として承認)

●ウェブアクセシビリティ配慮の 4 つの原則

- 知覚可能
- 操作可能
- 理解可能
- 頑健性

●利用者支援機能の発展

利用者向けの支援機能は様々に発展している。障害者・高齢者に配慮したページ作りは、一般利用者の利便性向上につながる。

- 音声読み上げ

- 音声入力
- 自動字幕付与
- 表示変換

2. 公的機関ホームページのアクセシビリティ

2004 年の JIS X 8341-3:2004 制定以来、改善の傾向は見られるものの依然として多数の問題がある。

- A.A.O.クオリティ実態調査
- Aion 全ページ JIS 検証

3. 図書館ホームページのアクセシビリティ

●図書館ホームページの利用目的と求められる配慮

- 図書館の所在地、開館時間、貸出ルールなどを調べる
- イベントの開催予定を調べる
- 障害者向けサービスを調べる
- 蔵書を検索する
- 貸出予約する

●ホームページとウェブシステム

- 基本情報を提供するホームページと、検索や予約サービスを提供するウェブシステムの両方でウェブアクセシビリティの配慮が必要
- ホームページとウェブシステムが、全く別物として開発されている例が多く見られる
- 一方で、図書館ホームページのデザインと一体化した形で、検索や予約サービスを提供する例もある
- 利用者としては、一貫した操作の仕組み、アクセシビリティ品質が実現されていることが望ましい

4. 改善のために求められる取組み

●リニューアルを行う場合は

- 総務省「みんなの公共サイト運用モデル (2010 年度改定版)」を参考に、委託業者に

JIS X 8341-3:2010 への準拠を求める

●実践的な改善につなげるために

- 障害者や高齢者の生の声を積極的に収集することが重要
- 対面での聞き取り、アンケート、ユーザー評価
- 日常の業務に無理なく取り入れられること、定期的な取組みにできることを少しずつ増やす

●参考にしたい取組み事例

の一まらいふ杉並 (<http://normalife.city.suginami.tokyo.jp/>)

- 東京都杉並区の提供する障害者向けの情報提供サイト
- 定期的に運用会議を開催し、ホームページ管理者、原稿を用意する個別業務の担当者、ホームページ運用支援業者が、課題を共有し改善協議を行う
- 毎年、障害者の声を収集する取組み（聞き取り調査、ユーザー評価など）を行い、調査で得られた問題・課題への対応を運用会議で協議し、改善を重ねている
- 取組みを積み重ねた現在では、運用会議において、JIS X 8341-3:2010 の範疇を超えた課題が議題に上がることも多く、試行錯誤が続けられている

- アクセシビリティ配慮を前提に、使いやすい、内容がわかりやすいホームページへ

5. 関連情報

- A.A.O. ウェブサイトクオリティ実態調査 図書館編第 1 回 (2010 年)

http://www.aao.ne.jp/research/cronos2/2010_library/index.html

- Aion 全ページ JIS 対応調査 (府省 2012 年)

<http://www.aao.ne.jp/research/aion/index.html>

- JIS X 8341-3:2010 (日本工業標準調査会)

<http://www.jisc.go.jp/>

- 総務省「みんなの公共サイト運用モデル (2010 年度改定版)」

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/w_access/index_02.html

- の一まらいふ杉並

平成 24 年度 障害者サービス担当職員向け講座 講演概要
図書館ホームページのアクセシビリティの現状とその対応方法
アライド・ブレインズ株式会社 大久保 翌 (おおくぼあきら)

<http://normalife.city.suginami.tokyo.jp/>

●の一まらいふ杉並の取組みを紹介したインタビュー (A.A.O.サイトより)

<http://www.aao.ne.jp/column/2009/report01-1.html>

以上